



【本送信票を含む 1枚】

令和8年8月 28 日

大学生と中学生が輪になって「問い」を深める対話型授業を実施します

—相川中学校区で小中連携 p4c(子どものための哲学)の取組—

相川中学校区では、児童・生徒一人一人の豊かな心の成長と、他者とともに考えを深める力の育成を目的として、小中学校9年間を見通した「p4c(Philosophy for Children/子どものための哲学)」の実践に取り組んでいます。

このたび、新潟県の教科教育専門監(道徳)と連携し、大正大学の学生を招き、相川中学校の道徳科の授業において p4c を実践します。対話を通して多様な考えに触れ、生徒自身が自ら思考を深めるとともに、他者とともに考える力を育むことを目指します。

つきましては、概要をお知らせしますので、ぜひ取材くださるようお願いします。

1. 日 時 令和8年9月1日(火) 10:45~12:35 (3限・4限)
2. 場 所 佐渡市立相川中学校 2年生教室
3. 参加者 相川中学校 2年生、大正大学学生、教科教育専門監(道徳) ほか

<当日の授業の特徴>

(1) 世代を超えた対話の輪

大学生が対話の輪に直接加わり、中学生とともに一つの問いについて思考を深めます。

(2) 新たな視点の獲得

普段のクラスメイトとは異なる年代や立場の視点に触れることで、生徒自身が自分の考えを見つめ直したり、新たな問いを生み出したりするきっかけをつくります。

(3) 大学生にとっての学び

現場の道徳教育や p4c の実践に触れることで、将来の教育活動につながる貴重な実践の場となります。



本件についての問い合わせ先
佐渡市立相川中学校
担当: 教頭 梶原
電話(直通) 0259-74-2157

